

ヒット商品はいつして生まれた！

昭和もの物語 vol.1



黒井尚志



株式会社ウイアックス

はじめに

昭和もの物語は社団法人家の光協会が発行する農業月刊誌「地上」で二〇〇四年一月号から一年半にわたって連載された「ヒット商品に秘密あり」という加工食品のロングセラーを対象にした開発物語を基本にして、一部を新たに書き加えている。これを企画立案したのは柴野豊氏で、

「私が異動になっても一年以上は続けられるくらい価値のある連載と自負している」と言って私に執筆を依頼してきた。その際、細かい注文は皆無で、

「こちらで特別な希望があれば伝えるけれども、基本的にどの商品を紹介するかも含めて任せるので好きなように書いてほしい」

と簡単な打ち合わせだけで連載が始まっている。その連載第一回目はカネボウフーズ（現クラシエ）の「甘栗むいちゃいました」で、柴野氏からの注文は何もなかった。以後、紹介する商品を決めると早めに連絡しておき、あとは好きなように書いていた。

その後、柴野氏は四月の人事異動で他の編集部に移り、児童書の「ちやぐりん」編集長を経て現在は単行本の編集長をしている。一方、連載は柴野氏が当初言っていたとおり、その後も一年以上続くことになった。そして好評だったことからページ数も発足当初の2ページから3ページに拡大している。

農業雑誌である「地上」がこのような加工食品のロングセラーを紹介し続けた理由は、原料農産物の生産増を期待したわけではない。それよりむしろ農家とその地域の農協が商品開発するさいのヒントになればという思いだった。そもそも農産物はたとえば魚沼産コシヒカリでわかるように、ブランド・イメージが売れ行きと価格に決定的な影響を及ぼす。

ところが、この連載を始めた当時はまだ一部を除いて、地域農産物の商品開発とブランド・イメージの定着を推進する農協や農家は少なかった。そのためブランドを前面に押し出して営業活動を活性化させていた一部の農協・農家と、そうではない農協・農家との差が大きく開いている時期でもあった。

そこで出遅れていた農協や農家が商品作物を展開する際の一助になればという思いで連載を続けた次第だ。

今回の電子書籍版では、平成に入って開発された「甘栗むいちゃいました」同様に割愛したが、「地上」の連載で紹介した商品のなかでもっとも古いのは養命酒で、現在とは使っている薬草が異なるが一六〇二年から製造されている。もっともこれは例外中の例外で、日本に現存する加工食品のほとんどは明治以降に開発されている。

今回の電子書籍版にあたり、連載中に紹介した商品のうち、昭和に開発された商品を抽出し、一部を新たに加えて紹介することにした。このなかには会社の屋台骨を背負っ

ただけでなく、世界に進出し他国の食品製造業にも大きな影響を与え、事実上の世界基準になった商品もある。

これから日本は人口が本格的に減り始める時代を迎え、食品メーカーの海外進出はますます活発化するだろう。その過程でも企業は様々なヒット商品を開発していくはずだ。そしてそれはより国際化し、国によって味も風味も異なるバリエーションの豊富な商品になっていくのではないだろうか。

昭和もの物語

vol. 1

お〜いお茶（伊藤園）

カップヌードル（日清食品）

ポッキー（江崎グリコ）

都こんぶ（中野物産）

のど飴（ロツテ）

ワンカップ大関（大関）

お茶づけ海苔（永谷園）

ハウスバーモントカレー（ハウス食品）

おいしいお茶
(伊藤園)



1985年に発売された当時のデザイン。
緑茶でなくせん茶の文字が…。

カップヌードル
(日清食品)



1971年に発売された当時のパッケージ。

ポツキ
(江崎グリコ)



昭和 41 年発売当時のパッケージ。人海戦術でチョコレートにコーティングしていた当時は忍ばれる。

都
こ
ん
ぶ
(中野物産)



シンボルマークの桜と「都」の文字が書かれた赤いパッケージは
発売当初からほとんど変わっていない。

のど飴
(ロツテ)



カリンを全面に出したシンプルなデザインだ。

ワンカップ大関
(大関)



発売当時のワンカップ大関。今も昔も変わらないラベルデザイン。

お茶づけ海苔
(永谷園)



1952年発売当時のパッケージ。歌舞伎の定番幕をあしらったデザインは今に継承している。

ハウスバーモント
カレー（ハウス食品）



「辛い」イメージのカレーにリンゴの写真を添えた
パッケージは斬新だった!?

黒井尚志（くろいひさし）

一九五二年北海道帯広市生まれ。大学時代に東海道五十三次を歩き、自転車で日本一周、スカンジナビア半島冬季徒歩横断を達成。卒業後、自転車レースでオーストラリアを一周、一九七九年から現職。ルポルタージュのほか、モータースポーツ、経済、農業、環境問題等を中心に雑誌等で活動している。著書は『ル・マン・偉大なる草レースの挑戦者たち』（集英社）、『飽食の終わり』（ダイヤモンド社）、『日本グルメ帝国の崩壊』（家の光協会）、『ピンボ어도三年すれば慣れる』（ダイヤモンド社）、『21世紀の会社番付』（成星出版）、『Zをつくった男』（双葉社）、『レーサーの死』（双葉社）など多数。



ちょっと思文庫

ヒット商品はこうして生まれた! 昭和ものの物語 vol.1

発売日 2012年10月23日

著者 黒井尚志

編集 栗田孝子

装丁 2010

企画 林秀和 西門直 大西健之 梶川悦子 志田淳

発行者 小川巧次

発行所 株式会社 **ヴィアックス**

〒164-8677

東京都中野区弥生町 2-8-15

TEL 03-3299-6009

<http://www.viax.co.jp/>

無断転載・複製を禁じます。

© Hisashi Kuroi 2012

この作品は「地上」（社団法人 家の光協会）で2004年1月号から「ヒット商品に秘密あり」のタイトルで連載したものに加筆修正しました。